＜実験の概要（聴覚に与える遅延によって身体運動に現れる影響の調査）＞

私たちの研究では、よりよい補聴器を開発するためのデータを集めています。

もしも、補聴器から聞こえてくる音が、**実際の音よりも遅れて聞こえたら**、人によっては、**身体の動作も音につられて遅れる、などの影響が現れるかも**しれません。

本日は、その**影響を測定する実験**と、**聴力検査（閾値検査）**を行います。

影響を測定する実験では、一定のリズムで鳴る**メトロノームの合図音に合わせて**、**ゲームコントローラのボタンを何回か押して**いただきます。

ゲームコントローラのボタンを押すと、ヘッドホンから「ピッ」という音が**ボタンを押した瞬間に聞こえたり**、**ボタンを押してから少し遅れて聞こえたり**します。

実験の開始と終了は、こちらが合図します。

ボタンを**押し間違えたり、押すタイミングがずれたりしても構いません**ので、リラックスしてボタンを押してください。

＜聴力検査（閾値検査）の概要＞

（１）**ヘッドホンを、耳全体を覆うように装着**してください。

「Ｌ（青）」が左耳、「Ｒ（赤）」が右耳です。

（２）応答ボタンスティックを、**黒いボタンを押せるように持って**ください。

持つ手は片手でも両手でも大丈夫ですが、**片手で持って親指でボタンを押すと押しやすい**です。

（３）試しに、**黒いボタンを何回か押して**ください。

（４）こちらが合図したら、聴力検査が始まります。

検査時間は５分程度です。

（５）ヘッドホンから「ピーッピーッ」という音が、いろいろな高さで鳴ります。

「ピーッピーッ」が聞こえたら、**聞こえている間ずっとボタンを押し続けて**ください。

「ピーッピーッ」が**聞こえなくなったら、ボタンをはなして**ください。

（６）こちらが合図したら、聴力検査が終了します。